

プレスリリース



Global Organic Textile Standard (GOTS)

1. オーガニック・テキスタイル世界基準 GOTS バージョン 4.0 を発表

再生繊維と合成繊維の査定方法が進歩・パーソナルケア製品が認定可能に

2. 年次報告 2013 年ヨーロッパで認証件数飛躍

* * * * *

<GOTS バージョン 4.0>

GOTS 国際作業グループは、本日新しいバージョン GOTS 4.0 を発表した。GOTS (Global Organic Textile Standard) とはオーガニックテキスタイル製造の国際的な認証基準で、ラベルには、オーガニック繊維 95%以上の「Organic」と70%以上の「Made with Organic」の二つのグレードがある。

基準改定に当たって、GOTS の軸となる方針「製品の少なくとも70%以上は認定された有機繊維であること」「遺伝子組み換え技術やナノテクノロジーの禁止」「発癌性物質の禁止」などは保持された。

大きな変更としては、「Made with Organic」の製品に30%未満であれば使用を許容される「追加繊維素材」の判定基準見直しがある。今後、環境に配慮していると評価された再生繊維や合成繊維の使用が許可される。再生繊維とは、認証されたオーガニック原料あるいは持続可能な森林管理認証を受けた原料からの素材と、認められた基準に従ってリサイクル認証を受けたリサイクル素材。合成繊維とは、認められるリサイクル基準に従って認証を受けたリサイクル素材を原料とした合成繊維。

GOTS テクニカル・ディレクター、マーカス・ブリューゲル氏は「環境アセスメントによる現在の認識によれば、従来の許容可能な「追加繊維素材」の焦点は、もはや正当ではなかった。今後、テキスタイル製造の関係者はリサイクル素材や環境に配慮した合成繊維を(30%未満)混合する事でより多様な繊維を選択できるようになります。GOTS が繊維の選択肢を広げる事は、結果として認証された有機繊維の使用をさらに支援することになるでしょう。」

また、未使用のポリエステルと一般のアンゴラの使用が禁止された事について、ブリューゲル氏は「再利用されたポリエステル糸は既に、広く利用可能です。アンゴラの場合、一般的なアンゴラ・ウサギの扱いが動物の福祉に反する許容できない事が原因です。」とコメントした。

加工の基準については、より厳密になる。すべての改訂プロセスでテキスタイルの薬剤および残留物試験を方法に関する最新の洞察が検討された。様々な適用可能な判定基準および限界値が強化された。既存の広範囲にわたる禁止物質と残留物パラメータのリストは、更に拡大された。(グリーンピースの「デトックス・キャンペーン」で批判されたすべての物質が、GOTS では当然のように禁止されている。)

また、新しい基準では、パーソナルケア製品やマットレスなども認証可能となった。

児童労働の禁止を含む GOTS 社会規範は ILO(国際労働機関)の協定に基づき、現地検査の際の、検査員によってカバーされる監査の範囲がさらに明記された。

GOTS 4.0 では他の社会規範: Fair Wear Foundation (FWF)、Social Accountability 8000 (SA800)、Worldwide Responsible Accredited Production (WRAP)、The Business Social Compliance Initiative (BSCI)の検査結果を GOTS の検査の中で検討することになる。

また、火災予防と避難訓練がすでにある健康と安全の訓練要件に加えられた。

GOTS は 3 年ごとに改定しており、今回バージョン 4.0 の策定には、国際的に活動する 有機生産・テキスタイルの製造加工・テキスタイルの化学・社会基準の各分野での専門家と、事業会社、NGO、消費者利益の代表などの参加により実現した。

(参加団体一例:Greenpeace, the Clean Clothes Campaign, Fairtrade, the Fair Wear Foundation, IFOAM, Textile Exchange)

新しいバージョンへの移行期間はバージョン 4.0 発表から 1 年。

<GOTS 年次報告 2013>

2012 年には世界 62 カ国で GOTS 認証された施設件数が 3000 件を超えた。2013 年はアジアで認証件数の減少があったが、ヨーロッパでの大きな増加により合計では 3085 件と安定的な成長を続けた。合計 109 の新しい施設が、ドイツでは+66%、オーストリアでは+14%、スイスでは+27%登録され、ポルトガルでは+73%の 33 件の新しい施設が、イタリアでは+13%、フランスでは+12%の増加となった。

GOTS 認証された施設件数の多い上位 20 カ国 : インド・トルコ・ドイツ・中国・韓国・イタリア・パキスタン・バングラディッシュ・日本・ポルトガル・フランス・英国・米国・オーストリア・スイス・オランダ・ギリシャ・デンマーク・ベルギー・スリランカ

「欧州での認証件数の飛躍的な伸びはとても良いサインです。」GOTSマーケティングディレクターのクラウディア・カースティン氏は説明する。「企業にとってGOTS認証はサプライチェーンの管理に役立つだけでなく、商品の差別化につながっているのです。企業が持続可能なビジネスにどう取り組めば良いかの道筋をたて、世界中に広がるテキスタイル産業の環境を良くします。同時に消費者を環境・社会に配慮した商品へ引きつけます。GOTS認証取得によって企業は本当に持続可能なテキスタイル産業を担う一端となり、長期的に見れば企業自身の成功につながるのです。」

現在 17 の認証機関が GOTS の許可認定を取得している。

また全ての認定された企業/施設はウェブサイトのパブリックデータベースで検索可能。

★バージョン 4.0 のGOTS基準やその他詳細な情報、このプレスリリース英文と中文はウェブサイト www.global-standard.org でご覧になれます。

連絡先: GOTS-JAPAN 三好 智子 Phone: 070-5077-9279 メール: miyoshi@global-standard.org